

# 血液・腫瘍内科

## 1. 概要

2016年度は5名のスタッフにて、1日約50から60人の外来と、約40から50人の入院に対する診療を行った。疾患の多くは血液腫瘍であり、若年者から高齢者まで対象年齢は幅広い。血液腫瘍は化学療法の効果が期待しやすいことが多く、高齢者であっても可能な範囲で積極的に化学療法を行っている。また、造血幹細胞移植も適応のある症例では行っており、本年度は自己末梢血幹細胞移植を9例に、同種造血幹細胞移植を17例（血縁者間4例、非血縁者間13例）に施行した。

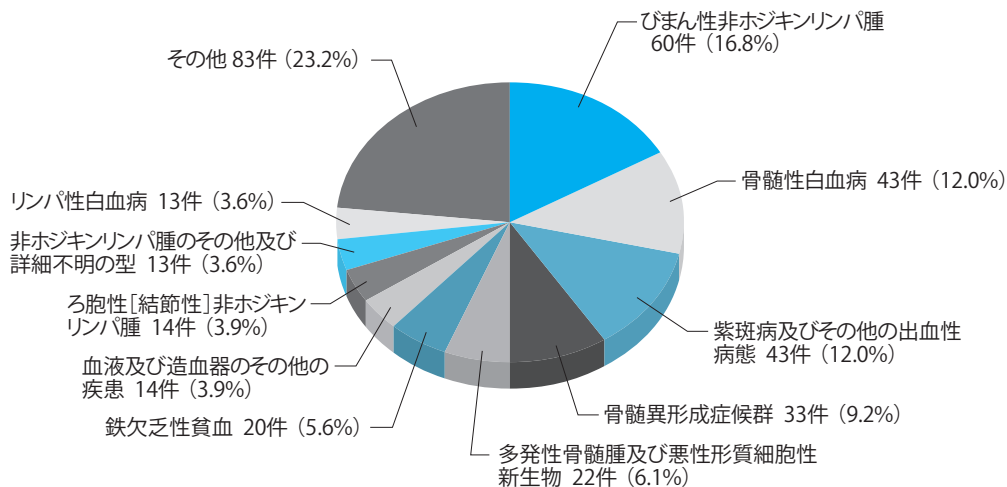
本年度の重点項目として、チーム医療及び耐性菌管理を挙げた。血液腫瘍に対する治療は強力になりやすく、特に同種造血幹細胞移植においては顕著である。そのために様々な合併症が起きやすいが、それらに対応するため、また、治療を円滑に進めるため、他領域専門職種とのチーム医療が望ましく、積極的に実践した。また、治療の安全性のためには感染症管理も重要であり、特に耐性菌管理に注意を払って診療を行った。

(第一部長 杉浦 勇)

(文責 第二部長 倉橋 信悟)

## 2. 新規登録疾患

総数：358件



疾患名	主となるICD-10病名	件数(件)	ICD-10
びまん性非ホジキンリンパ腫	大細胞型 (びまん性)	57	C833
骨髄性白血病	急性骨髄性白血病	29	C920,C924
	慢性骨髄性白血病	12	C921
紫斑病及びその他の出血性病態	特発性血小板減少性紫斑病	29	D693
	血小板減少症, 詳細不明	14	D696
骨髄異形成症候群	骨髄異形成症候群, 詳細不明	25	D469
	芽球過剰性不応性貧血	6	D462
多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物	多発性骨髄腫	19	C900
鉄欠乏性貧血	鉄欠乏性貧血, 詳細不明	20	D509
血液及び造血器のその他の疾患	真性赤血球増加症	6	D45
	本態性血小板増加症	6	D752
ろ胞性 [結節性] 非ホジキンリンパ腫	中細胞及び大細胞混合型, ろ胞性	9	C821
	ろ胞性非ホジキンリンパ腫, 詳細不明	3	C829
非ホジキンリンパ腫のその他及び詳細不明の型	B細胞リンパ腫, 詳細不明	6	C851
	非ホジキンリンパ腫のその他の明示された型	5	C857
リンパ性白血病	急性リンパ芽球性白血病	8	C910
	成人型T細胞白血病	3	C915
	慢性リンパ球性白血病	2	C911

### 3. 活動報告

#### (1) 患者状況

年間外来患者数	13,984人	年間外来新患者数	445人
年間入院患者数	16,180人	年間入院新患者数	552人

#### (2) 感染症

延べ総件数：199件

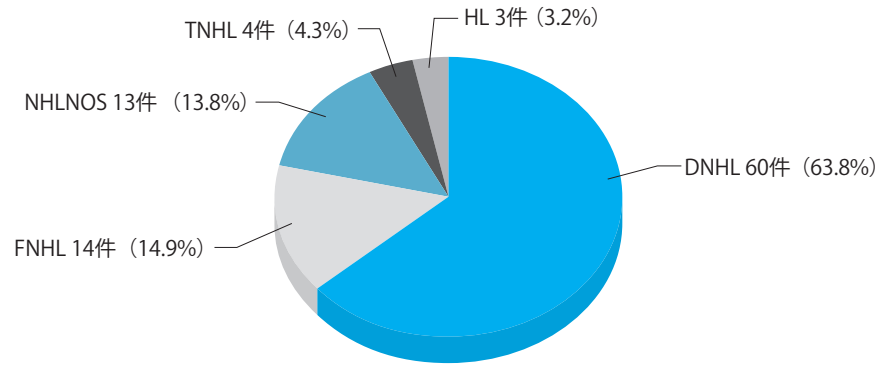
	疾患名	件数(件)		疾患名	件数(件)
1	敗血症	48	5	ヘルペス感染症	19
2	カンジダ症	70	6	ニューモシスチス症	4
3	真菌症	20	7	アスペルギルス症	12
4	サイトメガロウイルス病	26		計	199

#### (3) 造血幹細胞移植

種類			件数(件)
自家移植			9
同種移植	血縁者間	同胞	2 (骨髄：2 末梢血：0)
		半合致	2
	非血縁者間	骨髄バンク	8
		臍帯血バンク	5

(4) 悪性リンパ腫の組織分類 (ICD10 C81-85)

総件数：94件



略語	疾患名
DNHL	びまん性非ホジキンリンパ腫
FNHL	ろ胞性 [結節性] 非ホジキンリンパ腫
NHLNOS	非ホジキンリンパ腫のその他及び詳細不明の型
TNHL	末梢性及び皮膚T細胞リンパ腫
HL	ホジキン病

## 学会発表（医局）

<血液・腫瘍内科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	Minimal residual diseasebased strategies in hematopoietic cell transplantation for Philadelphia chromosomepositive acute lymphoblastic leukemia.	筆頭演者	Satoshi Nishiwaki	The20th Winter Meeting of the Korean Society of Blood and Marrow Transplantation	韓国	2016/2/26
2	新規に非血縁ドナーからの骨髄採取を安全に実施するための取り組み	筆頭演者	西脇 聡史	第38回日本造血細胞移植学会総会	名古屋市	2016/3/4
3	Ph(+) <small>ALL</small> におけるMRDと移植成績	筆頭演者	西脇 聡史	第38回日本造血細胞移植学会総会	名古屋市	2016/3/5
4	Utility of FOBT followed by colonoscopy for dasatinib-induced asymptomatic hemorrhagic colitis	筆頭演者	Satoshi Nishiwaki	第78回日本血液学会学術集会	横浜市	2016/10/15
5	妊娠中にABVd療法を行い切迫早産やニューモシスチス肺炎を合併したホジキンリンパ腫の1例	筆頭演者	岡田百合香	第230回日本内科学会東海地方会	名古屋市	2016/10/16
6	Significance of Fecal Occult Blood Test Followed by Colonoscopy for Asymptomatic Dasatinibinduced Hemorrhagic Colitis. (CML1501 Study)	筆頭演者	Satoshi Nishiwaki	58th Annual Meeting of American Society of Hematology	San Diego	2016/12/3

## 研究会発表（医局）

<血液・腫瘍内科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	新規治療薬にも治療抵抗性を示す若年多発骨髄腫の1例	筆頭演者	鈴木弘太郎	第14回東海骨髄腫フォーラム	名古屋市	2016/2/20
2	妊娠中に発症したALK陰性未分化大細胞型リンパ腫との鑑別を要した古典的ホジキンリンパ腫の一例	筆頭演者	倉橋 信悟	東海悪性リンパ腫研究会	名古屋市	2016/2/27
3	ステロイドやトシリズマブで救命し得なかったTAFRO症候群の一例	筆頭演者	倉橋 信悟	三河血液疾患診療ネットワーク	知立市	2016/5/13
4	高齢者に対する当院のアザシチジン治療	筆頭演者	梅村 晃史	第2回東海MDSカンファレンス	名古屋市	2016/6/15
5	当院におけるPOEMS症候群症例	筆頭演者	鈴木弘太郎	東海骨髄腫フォーラム	名古屋市	2016/9/10
6	当院におけるPOEMS症候群症例	筆頭演者	鈴木弘太郎	三河血液疾患診療ネットワーク	知立市	2016/10/7

## 座長・司会（医局）

<血液・腫瘍内科>

No.	座長・司会	演 題 名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	司会	ミニレクチャー 骨転移診療ガイドラインについて	杉浦 勇	第14回東海骨髄腫フォーラム	名古屋市	2016/2/20
2	司会	イブニングセミナー4 The New treatment strategy for SCT eligible Multiple Myeloma patients	杉浦 勇	第38回日本造血細胞移植学会総会	名古屋市	2016/3/4
3	座長	一般口演32 多発性骨髄腫	杉浦 勇	第38回日本造血細胞移植学会総会	名古屋市	2016/3/5
4	司会	特別講演 The treatment strategy for transplant eligible and ineligible myeloma patients	杉浦 勇	第15回東海骨髄腫フォーラム	名古屋市	2016/3/5
5	司会	講演 I 難治性CMLの治療戦略	杉浦 勇	Pfizer Hematology Seminar ーボシュリフ1周年記念講演会ー	名古屋市	2016/4/8
6	司会	講演1 IMiDsの作用機序と治療の実際	杉浦 勇	名古屋骨髄腫セミナー	名古屋市	2016/8/19
7	座長	ポスター86 Ph+ALL	杉浦 勇	第78回日本血液学会学術集会	横浜市	2016/10/14

## 講 演 (医局)

### <血液・腫瘍内科>

No.	演 題 名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	Ph+ALLの新たな治療戦略	杉浦 勇	高知Ph白血病Seminar	高知県	2016/2/12
2	造血細胞移植患者における深在性真菌症管理	倉橋 信悟	第38回日本造血細胞移植学会モーニングセミナー	名古屋市	2016/3/5
3	Ph+ALLの新たな治療戦略	杉浦 勇	第3回島根Leukemiaセミナー	島根県	2016/5/27
4	血液腫瘍と造血幹細胞移植について	倉橋 信悟	第64回健康教室	豊橋市	2016/10/22
5	Elotuzumabの使用経験	杉浦 勇	EMPLICITI承認記念講演会	名古屋市	2016/11/4
6	国内臨床試験（ONO-7057-05試験）における豊橋市民病院での症例紹介	杉浦 勇	カイプロリス発売記念講演会 in 東海	名古屋市	2016/11/11

論文・著書(医局)

<血液・腫瘍内科>

No.	題 名	区分	氏名	雑 誌 名
1	Ph陽性急性リンパ性白血病	筆頭著者	杉浦 勇	日本臨床増刊号白血病学(下). 2016, p.151-p.155.
2	リンパ腫の各病理組織型の治療と予後 マントル細胞リンパ腫	筆頭著者	鈴木弘太郎	内科. 2016; 117: 1321-1324.
3	Ph陽性急性リンパ性白血病	筆頭著者	岩崎 年宏	白血病・リンパ腫薬物療法ハンド ブック. 2016, p.107-p.122.
4	Ph陽性ALL (成人)	筆頭著者	杉浦 勇	急性リンパ性白血病 (ALL) の基礎 と臨床. 2016, p.136-p.145.
5	Impact of MRD and TKI on allogeneic hematopoietic cell transplantation for Ph+ALL : a study from the adult ALL WG of the JSHCT.	筆頭著者	Satoshi Nishiwaki	Bone Marrow Transplant. 2016; 51: 43-50.
6	A new prognostic index to make short- term prognoses in MDS patients treated with azacitidine : A combination of p53 expression and cytogenetics.	筆頭著者	Satoshi Nishiwaki	Leuk.Res. 2016; 41: 21-26.
7	B Cell linker protein (BLNK) is a selective target of repression by PAX5- PML protein in the differentiation block that leads to the development of acute lymphoblastic leukemia.	共同著者	Shingo Kurahashi	J Biol Chem. 2016; 291: 4723-4731.
8	Fibroblast Growth Factor-2 facilitates the growth and chemo-resistance of leukemia cells in the bone marrow by modulating osteoblast functions.	共同著者	Satoshi Nishiwaki	Sci Rep. 2016; 6: 30779.
9	特殊病型と類縁疾患の診断と治療 非分泌型多発性骨髄腫	筆頭著者	倉橋 信悟	日本臨床増刊号多発性骨髄腫学. 2016, p.513-p.516.
10	急性GVHDにおける皮膚マクロファージ 浸潤の臨床的意義	筆頭著者	西脇 聡史	日本臨床増刊号白血病学(下). 2016, p.577-p.582.